

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			日常活動上、スペースは適切ですが、集団活動などは公園や公共施設を利用。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			指導員を多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	バリアフリー化できてない建物なので、身体障害児の受け入れはしていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			目標設定の達成など、会議等で改善点などを報告している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			改善に向けて努力している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			通信・HPで公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人第三者委員の評価は行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修・内部研修ともに行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回の面談実施の上、サービス計画を作成。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			サービス計画書内容をスタッフ間で共有している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			会議などで皆の意見を取り入れている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化されたダンスや工作活動以外にも色々な取り組みをしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇でしかできないことを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別アプローチに関して、話し合いの場をより多く持ち、検討していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日のミーティングで行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	職員間では出来ていますが、スタッフには翌日の打合わせの中で話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別記録(日誌)を付けている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者が出	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					該当者なし
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		必要に応じて行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				○	今後連携していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	児童館・図書館・公民館にはよく行っているが、交流までは至らない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				6ヶ月毎の面談での支援計画作成や日常の事は家庭連絡帳で状況伝達をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	今後の課題である。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				利用開始時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				相談支援からだけではなく、直接、相談を受けた時は、内容に沿うように対応している。又は、送迎時にもお話を伺っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者会をより多く聞き、保護者が参加しやすくする。(今年度は1回)

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			本部、相談支援と連携して行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			各デイサービス事務所の情報を「デイ通信」「タイム通信」にて発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか		○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カード等を利用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			自治会に参加、クリスマス会等、各種イベントの招待。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定し、皆が閲覧できるようにしています。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会中心の研修、ミーティング時での話し合い、外部研修の参加。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			説明同意書、記録シートを用い、計画書にも記載している	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			緊急カード作成により、情報がより詳しく把握できている。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			打ち合わせなど、会議の時に作成したものを伝達。	

【本年度の成果・反省】

- 集団で関わる事で、一人一人の成長が見受けられた。
- 定期的活動（リズム体操・ことばメソッドぴんぼん・工作）を行う事で集団としてのまとまりや自主性などが出てきた。
- 事故防止や、衛生管理、虐待等の伝達により、指導員一人一人に注意喚起が出来たと思います。

【来年度の課題・展望】

- 父母会をより多く持ち、父兄のとの連携を持てるようにする。
- 色々な活動を通して、子ども達が個性を發揮し、充実できるような環境づくりを行っていく。
- 事故防止や、衛生面などにこれからも留意し、子ども達が安心して生活できるよう努力する。